

子ども運動教育学科 履修モデル

※ 標記されている科目を修得すれば卒業や資格の要件を満たすということではない。

※ 卒業単位や分類ごとの修得要件、資格要件を必ず『学生便覧』で確認すること。

保育士・幼稚園教諭・幼児運動指導員 履修モデル

卒業必修科目

配当年次	1年次前期	1年次後期	2年次前期	2年次後期	3年次前期	3年次後期	4年次前期	4年次後期	
科目名	基礎	導入演習	総合英語 A	総合英語 B	総合英語 C	総合英語 D			
		情報処理	キャリアプランニング I	キャリアプランニング II		キャリアプランニング III			
		体育系大学の基礎教養	学習基礎教養演習	仙台大学の専門教養演習 I		仙台大学の専門教養演習 II			
		教養展開科目（人文・社会・自然科学）							
	専門基礎	スポーツ指導の基礎（含む実習）		運動生理学	スポーツバイオメカニクス				
		スポーツ心理学	体育原理		幼少年体育論				
		体カトレーニング	解剖・生理学						
		幼児体育論	子どもと発育						
		体育講義	スポーツ社会学						
			子どもとあそび						
	発展		社会福祉	幼児体育指導論	子どもの心理学 II	子どもリズム表現	卒業研究 I	卒業研究 II	
				教育の基礎理論 B	子ども家庭支援論	子どもの安全管理	子どもの食と栄養		
				子どもの心理学 I		幼少年スポーツ教育論	子どもの健康と安全		
				子ども家庭福祉		子どもの理解と援助	運動・身体表現 II		
	応用	音楽表現 I	教職論 C	教育の制度 B または 教育と社会		教育方法論 B	保育の教育課程		
		子どもと人間関係	保育原理	幼児理解の理論と方法	保育内容演習（表現）	保育内容指導論	保育内容演習（言葉）		
		ダンス I	保育内容総論	保育内容演習（健康）	日本国憲法	保育内容演習（人間関係）	子どもと言葉		
			音楽表現 II	子どもと健康	乳児保育 II	保育内容演習（環境）			
			子どもと環境	乳児保育 I	子どもと表現	社会的養護 II			
					社会的養護 I	子育て支援			
						障害児保育			
	資格関連				保育実習指導 I	保育実習 I	特別支援教育論（幼児）	幼稚園教育実習 I	教職実践演習（幼稚園）
								幼稚園教育実習 II	保育実践演習
								保育実習 II または 保育実習 III	
	成果目標	体育人、子どもの保育・教育に携わる者に必要な基礎人間力と高い倫理観を持つ。		子どもの心身の発達を支えるための専門基礎知識と技能を身に付ける。		理論と実践を融合し、実践的に指導する力を身に付ける。		4年間の学びを通して自己課題を見出し、研究する。また、地域社会に貢献できる人間力を身に付ける。	